

私たちの「生活クラブでんき」に変えようよ



自分たちでつくってきました！

原発や化石燃料に頼らずに暮らしたい。日本初の生協による風車など、環境負荷の少ない再生可能エネルギーをつくってきました。

省エネするほど安くなる料金プラン、利用者への還元割戻など、組合員による組合員のためのしくみもつくってきました。今だけよければよいでなく、子どもたちやそのまた先の子どもたちに、原発や気候危機のリスクを残さないために、みんなで使おう！

今、脱炭素は未来を守るために必要なこと！
「生活クラブでんき」は2021年10月度 86.8%を再エネ発電所から調達。2030年までに100%をめざしています！



発電地域や生産者と共に、環境のことを考え電気をつくっています
動画を見て発電地域の声を聞こう！

風車の中を見てみよう！

エネルギーWEBサイト →

「動画でみる生活クラブエネルギー」



- でんき変えたきっかけは？ 組合員の声
- ・東日本大震災をきっかけに原発に疑問を持った
 - ・以前から原発に疑問を持っていた
 - ・自然災害が酷くなってきて気候危機を感じた
 - ・生活クラブは信頼できると思った
 - ・自然エネルギーを使うことに共感した

試して！料金シミュレーション！



よくわからないこと
ちょっと気になること
気軽に問い合わせ
てくださいね！



←WEBサイトで電気料金シミュレーション！比べて納得！

パタゴニア日本支社も、生活クラブの「エネルギー7原則」に深く共感して生活クラブエネルギーの株主として「生活クラブでんき」を利用しているんだよ！



生活クラブでんき

(株)生活クラブエネルギーカスタマーセンター

0120-112-075

生活クラブ生協大阪組織運営課：072-641-5547

どうやって契約するの？ WEBか書類でOK！

生活クラブエネルギーWEBサイト、「新規お申し込み」から、現在の電気料金のお知らせ上部にある「お客様番号」「供給地点特定番号」などの必要事項を入力してください。

かんたん5分！



下のエネカードを出すか、配達担当職員に「生活クラブでんき」契約書類を依頼してください。後日、配達でお届けします。現在の電気料金のお知らせコピーを貼り、必要事項を記入して提出してください。

エネカード

「生活クラブでんき」資料・契約申込書送付依頼書

2022.2

お問い合わせ＆資料請求は、こちらのフォームからできます！
知りたいこと気軽に聞いてね！

- 契約を申し込みたい 説明を聞きたい 資料がほしい

問い合わせフォーム



●お名前	●電話番号	●組合員コード
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

記入された情報は規則に沿って管理し、生活クラブ生協大阪の活動以外の目的には使用しません

みんなにもっと読んでもらいたい!

2021年11月8日発行 OPNION に掲載された 平田仁子さんインタビュー

政府が石炭火力を主要なエネルギー源として推しすすめるなか、数年にわたって活動を続けた結果、日本国内の13基の石炭火力発電所の計画が中止に至りました。二酸化炭素の排出を大幅に削減したと評価され、2021年6月に環境分野のノーベル賞とも呼ばれる「ゴールドマン環境賞」を授与されました。

ひらたきみこ/NPO 法人気候ネットワーク国際ディレクター・理事、CAN-Japan 代表、千葉商科大学サイエンスアカデミー特別客員准教授、社会科学博士。

※石炭火力は、CO₂を一番多く排出する発電です。高効率火力だとしても、LNG（天然ガス）より、多くのCO₂を排出します。
※化石燃料・・・石炭、石油、天然ガスなど地下にある燃料資源
日本の発電の約8割が化石燃料を燃やす火力発電なのが問題です。

未来を変える
選択肢はみなさんの
目の前にあります



平田さんに
聞いてみよう!

「ゴールドマン環境賞」受賞 平田仁子さん インタビュー

気候危機をSTOP！ 私たちにできることは？

日本の気候危機への対応について教えてください

今年10月に政府が決定したエネルギー基本計画は、気候危機の解決に立ち向かっていくものにはなっていません。再生可能エネルギーを以前より増やすとはしていますが、原子力も化石燃料も使い続ける計画になっていて、エネルギーの構造も本質的には変えようとしていません。新しい時代に向かってエネルギーのあり方を転換していく仕組みが、いまの日本には不足していると感じています。

まず、何から始めればよいでしょうか

一人ひとりがエコな活動をするのも大切なのですが、化石燃料に依存した社会や経済の仕組みを大きく変えなければ問題の解決はめざせません。その前提で自分にできることを考えると、社会経済の仕組み自体を問う必要性に気づきます。自分には解決できないと目を背けるのではなく、問題の構造を自分ごととして「知り直す」ことが重要です。

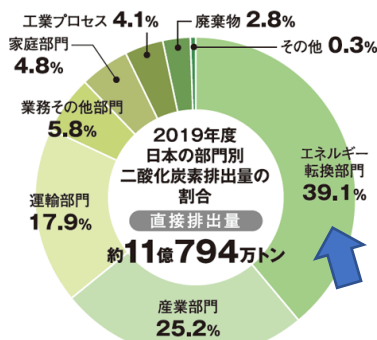
具体的にどんな行動が必要と考えますか

たとえば自分が利用している商品をつくる企業に、どんな脱炭素の取組みをしているか問合せをみたり、自治体の取組みを調べて意見を出してみたりと、「本気で変革をしてほしい」と協力を求めていくことが必要です。ニーズを届けていくと、必ずや変化が生まれます。また、いっしょに一歩を踏み出す仲間づくりも大切です。

生活クラブの組合員として、できることは？

日本で排出されている二酸化炭素の約1/3は電気によるもの（図のエネルギー転換部門）。日本全体で排出を減らすには、電気の再生可能エネルギーへの切替えは最優先課題です。先進国7ヶ国首脳会議（G7）では2030年代までに、電力システムの脱炭素化が合意されています。電気のでき方、使い方を変えなければいけません。

しかも生活クラブの組合員のみなさんの目の前には、「生活クラブでんき」が用意されています。使う人を増やしていくことは、電力システム全体を変える大きなパワーを持っています。また、消費者のニーズは火力でも原子力でもなく、再生可能エネルギーにあると他の電力会社に示すことで、変化を生み出す影響力にもなるのです。



参考：2019年度 日本の部門別二酸化炭素排出量の割合-各部門の直接排出量-温室効果ガスインベントリオフィス

組合員にメッセージをお願いします

一人ひとりの行動が大事なものは、これからも変わりません。みなさんが何をを選び、どう行動するかが、社会に大きなインパクトを与えていることを知り、より大きな行動に踏み出す勇気を持ってほしいです。さらに生活クラブが2050年に脱炭素化できるように、組合員のみなさんが生産者をも巻き込み、これまでにないモデルをつくっていくことにも期待します。